

一般質問通告書

平成 25 年 2 月13 日 提出

嵐山町議会議長 長島邦夫 様	議席番号 13	氏 名 渋谷登美子 印	受付番号
-------------------	------------	----------------	------

下記のとおり質問したいので通告します。

	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
2	地域医療と保健・福祉制度の連携について (答弁書不要)	<p>2006年度176030円という調査がある。 高校進学支援費として東京都が取り組んでいる。貧困の連鎖を断ち切るための支援が必要である。12月議会でも提案したが、予算化、方向を聞く イ、自転車購入・メガネ購入も必要費として支援費に加える方向を ウ、中学入学準備金は、4月1日以前にも対応できるが、考えを聞く エ、就学援助制度の教員への周知を聞く (4)ソーシャルスクールワーカーを導入し、教育・福祉のコーディネートを求める。</p> <p>(1) 医療の高度専門化、人口減少、医師不足で地域医療の崩壊が課題になっている。人口18,000人強の嵐山町で、入院施設のない診療機関が8、歯科医が8、病院が1、一般診療のない医療機関が5機関ある。各医療機関の経営が安定し、医療を提供できる体制が今後の地域医療を安定させる。地域医療について考え方を聞く。</p> <p>(2) 高齢化社会により、在宅医療の必要性が高まっているが、嵐山町には訪問看護ステーションは1ヶ所あるのみである。地域医療と保健福祉の連携を確立するとき、在宅介護・在宅医療・宿泊</p>	町長